

デジタル田園都市国家構想交付金を活用した取組

1 地方創生推進タイプ

地方版総合戦略に位置付けられた、地方公共団体の自主的・主体的な取組で、先導的な事業を、複数年度(概ね5箇年度以内)にわたり安定的・継続的に支援する交付金

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標		令和6年度 目標値	単位		令和6年度 実績値
1	〔新規報告〕 環境負荷低減の取組による「環境に配慮した持続可能な福岡県の農林水産業」の実現 【計画期間：R6～R8】	農林水産業が、成長産業として収益性の高い経営を展開しながらも、環境負荷低減の取組を強化することで持続可能な農林水産業を実現するために、「(1)農林水産業における生産、加工、販売の各段階において、脱炭素化やロスの削減、低コスト化といった環境負荷低減の取組を実施することで、本県の農林水産業の環境に配慮した持続的な産業への成長」、「(2)環境に配慮した持続可能な農林水産業を支える土台となる農山漁村の維持・発展」を目指す。	70,425	指標①	県産農林水産物産出額	365.5	億円	393.1 ※推計値	目標値を達成しており、持続可能な農林水産業の実現に寄与するために引き続き事業を実施する。
				指標②	藻場の保全面積	130	ha	130	
				指標③	有害鳥獣の捕獲者数	3,041	人	3,148	
2	〔新規報告〕 FUKUOKA IS OPEN～選ばれる福岡県を目指し、新しい扉を開く～ 【計画期間：R6～R8】	世界から海外人材を呼び込むことで、成長著しいアジアを中心とした海外の活力を本県に取り込み、ともに発展していくことで、「世界から選ばれる福岡県」の実現を目指す。	27,390	指標①	県内外国人労働者数	62,351	人	64,990	目標値を達成しており、「世界から選ばれる福岡県」の実現に寄与するために引き続き事業を実施する。
				指標②	留学生の県内就職者の増加数	1,510	人	1,532	
3	〔新規報告〕 万博を契機とした福岡県内周遊促進事業 【計画期間：R6】	本県全体の観光振興を目指し、万博を契機としたインバウンド需要の取り込み及び県内各地の周遊促進に取り組む。また、万博が開催される関西圏を中心に本県の取組を発信することで、日本人観光客を含む万博期間中の誘客に繋げる。	75,849	指標①	地域における旅行消費単価(外国人)	72,400	円	95,485	目標値を達成しており、本県へのインバウンドや日本人観光客の誘客及び旅行消費の拡大に寄与するために引き続き事業を実施する。
				指標②	地域における旅行消費単価(日本人)	47,078	円	56,744	
				指標③	延べ宿泊者数(外国人)	506	万人泊/年	739	
				指標④	ポータルサイト「よかパス」のユーザー数	13	万人	37	

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標		令和6年度 目標値	単位		令和6年度 実績値
4	関連産業との相互連携強化による 「選ばれる福岡県の農林水産業」の 実現 【計画期間: R5～R7】	物流業界や流通業界、食品業界など様々な関連産業との相互連携を深め、Win-Winの関係性を構築・発展することにより、本県の農林水産業が今後も持続的に販売力や生産力を維持・拡大するため、「サプライチェーンが一体となり付加価値の高い県産農林水産物を流通・販売するモデルを構築」、「効率的な農林水産物流通の確立により将来に持続する物流ルートを確保」、「食品産業等における原材料調達の国内回帰の動きを捉えたニーズに対応した販売促進活動により、業界相互の連携を強化」などを目指す。	85,201	指標①	大都市圏への県産青果物流通量(東京都中央卸売市場における県産青果物取扱量)	22,577	トン	17,162	運送業界における人手不足や物価高騰などの影響により、目標値を下回った。 今後目標値を達成するには、物流の効率化や青果物のブランド化による大都市圏へのPRが必要と考えているため、適切な事業を実施する。
				指標②	新たなアサリ流通体制「福岡モデル」による取扱量	100	トン	2	令和5年夏に豪雨や猛暑により、漁獲対象サイズのアサリがへい死し、目標値を下回った。 今後目標値を達成するには、安定した出荷が必要なため、漁業者が実施するアサリ保護の取組と協調しながら、適切な事業を実施する。
				指標③	福岡フェア等における県産食材の取扱高	357	百万円	525	目標値を達成しており、本県農林水産業の持続的な販売力や生産力の維持・拡大に寄与するために引き続き事業を実施する。
5	国内外のスタートアップ・ベンチャーが集うイノベーション・エコシステム拠点の形成 【計画期間: R5～R7】	令和7年4月、CICが新福ビルに、「CICイノベーションキャンパス」を開設するにあたり、これを核に福岡の産学官が一体となって、アジアをターゲットにした国内外のスタートアップ・ベンチャーが集積・交流し、イノベーションを創出するグローバル拠点を形成する。	68,717	指標①	本県のベンチャー企業への投資額(暦年)	308	億円	294	令和6年は、全国的に10億円未満の資金調達総額が減少しており、本県のスタートアップは10億円未満の調達が多く、目標値を下回った。 今後目標値を達成するには、海外投資家からの資金調達が重要であると考えているため、CICの海外ネットワークを活用した「F★Pitch」などのピッチイベント等を通じて、スタートアップの資金調達支援を実施する。
				指標②	1億円以上の投資を受けた企業数	53	社	65	目標値を達成しており、スタートアップ・ベンチャーが持続的に成長するグローバル拠点の形成に寄与するために引き続き事業を実施する。
				指標③	福岡拠点開設を決めた海外企業数	21	件	21	
				指標④	米国ボストンに有望人材を派遣する件数	10	件	10	

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標		令和6年度 目標値	単位		令和6年度 実績値
6	近未来MaaS福岡モデル創出事業 【計画期間：R5～R7】	福岡県でのMaaSの導入は一部の地域に限定されており、一元的なデータの把握・管理や地域間・事業者間・官民での有機的な連携ができていない。そのため、MaaSを始めとする交通DXの取組を推進するとともに、一連の取組を通じて得られる膨大な移動関連データを集約・分析するプラットフォームや、分析結果を地域の行政機関や交通事業者が一体となって共有及び利用する仕組みを構築する。公共交通政策の立案(EBPM)や、交通ネットワークの最適化等を図り、地域の実情に応じた持続可能で多様かつ質の高い地域公共交通を実現する。	47,242	指標①	北九州・筑豊・筑後地域における乗合バス利用者数	71,803	千人/年	57,733	運転手不足等による地方バス路線の減便、廃止等の影響を受けたため、目標値を下回った。今後目標値を達成するには、運転手確保対策などの他の施策も必要であることから、引き続き事業を実施するとともに、運転手確保やデータを活用した利用促進など様々な事業を一体的に実施する。
				指標②	県内市町村における新たな輸送サービスの導入件数	27	件	33	目標値を達成しており、地域公共交通の維持・確保に寄与するために引き続き事業を実施する。
				指標③	MaaSアプリ利用者数	511,585	人	633,945	
				指標④	データ利活用実施市町村数(累計)	15	市町村	16	
7	国内観光客をターゲットとした誘客の強化とポスト・ウィズコロナ時代に対応した新たな観光地域づくりによる旅行消費拡大 【計画期間：R4～R6】	観光誘客を強力に推進していくため、国内観光客を中心とした誘客に重点的に取り組む。また、地域の観光資源や魅力ある体験型観光をつないだ広域ルートを設定し、新たな観光エリアを創出することで、県内各地域への来訪を促進し、旅行消費の拡大を図る。	80,370	指標①	延べ宿泊者数(日本人)	1,772	万人泊/年	1,656	観光プロモーションや観光の核となる地域づくりに取り組み、コロナ前の数値を上回ったが、物価上昇の影響等により、目標値を下回った。今後は、安定的な旅行需要の確保が必要と考えており、閑散期の平日における旅行需要喚起、県内の周遊促進、旅行者の受入環境の充実に取り組み、宿泊者数の増を目指す。
				指標②	旅行消費単価(日本人)	50,800	円	56,744	目標値を達成しており、国内観光客の誘客強化及び新たな観光地域づくりによる旅行消費拡大に寄与した。
				指標③	リピーター率	62.2	%	65.6	

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標		令和6年度 目標値	単位		令和6年度 実績値
8	自然と健康になるまちづくり(ポスト コロナにおける新たなふくおか健康 づくり県民運動) 【計画期間: R4～R8】	高齢化が進行する中、県民一人ひとりが生涯にわたり元気で健康に暮らしていくため、スポーツ振興や高齢者支援、魅力ある職場づくり、産業振興等と健康づくりを一体的に推進し、自然と健康になる環境づくりと地域経済の活性化を図る。	74,904	指標①	成人のスポーツ実施率 (週1回以上運動またはスポーツを実施している者の割合) (「ふくおか健康ポイントアプリ」アンケート)	65	%	65	目標値を達成しており、県民の健康寿命延伸に寄与するために引き続き事業を実施する。
				指標②	「ふくおか健康ポイントアプリ」利用者の平均歩数	8,757	歩	6,375	リモート会議やテレワークといった外出頻度の減少、生活スタイルの変化等により、目標値を下回ったと考えられる。 今後目標値を達成するには、一人ひとりの意識を変え、行動変容を促す必要がある。まずは楽しみながら運動ができるように、企業版ウォーキングラリーの実施や、運動と健康寿命の関連など運動の大切さを掲載した「ふくおか健康ポイント+」の充実を図り、平均歩数増加につなげる。
				指標③	特定健診実施率	72.96	%	55.10	特定検診の実施率は、自営業や農業者等が対象となる市町村国民健康保険での実施率が低く、目標値を下回った。 今後目標値を達成するには、効果的な情報提供や受診勧奨等が必要と考えているため、ナッジ理論を活用した受診勧奨資料の制作などを実施する研修会を開催するとともに、関係機関と協力して、各市町村の受診率向上の好事例等の共有等を進め、特定検診受診率向上につなげる。
9	デジタル技術を活用した中小企業の 生産性向上支援事業 【計画期間: R4～R6】	コロナ禍を契機に顕在化したデジタル化の遅れに対し、高度な専門のアドバイザーが、それぞれの中小企業の段階に応じ、デジタル技術を活用した伴走支援を行う。併せて、デジタル設備導入補助を行うことにより生産性を向上させ、中小企業の経営力、競争力の強化を図る。また、中小企業におけるデジタル化推進を促す講座、支援人材の育成等の人材育成を実施。	72,798	指標①	デジタル化現地支援終了後、「企業毎の個別指標」に関して支援前よりも生産性が向上した企業数	334	社	290	新型コロナの5類移行後、支援申込件数が増加しているが、支援完了までに時間を要すること、設備導入が必要な場合の資金調達に時間を要したこと等の理由により目標値を下回ったもの。 今後は、資金調達時間の短縮が有効と考えられることから、本県が実施している生産性向上のための省力化又は省エネ化に資する設備導入に係る助成を積極的に活用してもらい、早期の生産性向上につながるよう支援していく。
				指標②	中小企業におけるDXの実践割合	27	%	24.5	小規模企業を中心に具体的な取組に繋がられていない企業があり、目標値を下回った。 今後は、企業の外から支援する人材の育成が必要と考えているため、「支援人材」を多く育成するための取組を実施する。

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標		令和6年度 目標値	単位		令和6年度 実績値
10	福岡自慢の農林水産物を活用した 地域活性化 【計画期間：R4～R6】	消費者や実需者が求める県産農林水産物を安定的に供給する体制を構築し、本県農林水産物の競争力を向上させることで、農林水産業を稼げる夢のある産業へと転換させ、親元就農のみならず県外からのI・Jターン就業者を確保する。また、本県の強みであるロボット関連企業と連携することで、AI、IoT、ロボット技術といった成長産業を振興する。更に、本県の魅力である食と地域の文化等を同時に発信することで食文化の継承や観光業を振興するとともに、飲食業を活性化することにより、農林水産業と関連産業がともに発展する好循環をつくり、雇用の場を拡充する。	69,463	指標①	県産農林水産物の輸出額	55.05	億円/年	61.8	目標値を達成しており、農林水産業の発展及び雇用の場の拡充に寄与した。
				指標②	デジタルデータを活用した経営を行う経営体数	645	経営体	1,151	
				指標③	国外加工したマダイの取扱店舗数	120	店舗	280	
11	「起業は福岡で、活躍は世界で。」 地域産業をリードするフコオカベンチャー創出事業 【計画期間：R4～R6】	VC、金融機関、支援団体、大学教育機関、行政が一体となって、起業家がチャレンジできる環境をつくり上げることで、優れた技術とアイデアを用い、事業拡大を目指す県内ベンチャー企業の成長ステージに応じた支援に取り組む。小規模な事業規模にとどまらない投資額の大規模化を狙い、アーリー期の入り口としてまずは1億円以上の資金調達を、さらなるステップとしてIPOの実現を目指し、世界で活躍するベンチャー企業を輩出していく。	29,319	指標①	1億円以上の資金調達を行ったベンチャー企業数	60	社	79	目標値を達成しており、世界で活躍するベンチャー企業輩出に寄与した。
				指標②	人材バンクを活用した就業・副業件数	60	件	46	計画1年目(R4)の人材のマッチングが想定よりも時間を要したことが影響し、今年度(全体)の目標値を下回った。計画2年目(R5)以降は、人材バンクの登録促進や制度周知により、着実にマッチング件数が増加しているため、今後も、人材バンクの登録促進や制度の周知を行い、マッチング件数を増やしていく。
				指標③	ベンチャーと市町村との協業事業の件数	24	件	35	目標値を達成しており、世界で活躍するベンチャー企業輩出に寄与した。
				指標④	中小企業の海外展開成約件数	130	件	135	

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標		令和6年度 目標値	単位		令和6年度 実績値
12	福岡県のポテンシャルを生かした、 デジタル社会を支える産業の拠点 形成事業 【計画期間：R4～R6】	デジタル社会を支える産業分野で ある「半導体」「ブロックチェーン」分 野において、産学官連携による人 材育成、企業支援の仕組みを活か し、地域のイノベーションを支える人 材の定着や、魅力ある製品・サービ スを生み出す企業の集積により、魅 力的で稼ぐ力を有する「しごと」の創 出を目指す。	23,388	指標①	半導体、ブロックチェーン 分野への新規参画企業 数	114	社	297	目標値を達成しており、人材・企業の集積に寄与し た。
				指標②	県の支援による半導体、 ブロックチェーン分野にお ける新製品・新サービス の開発件数	42	件	26	支援対象企業が開発を途中で断念したことや、開発 期間が長期にわたること等から、目標値を下回った。 今後は、開発の各段階における継続的な支援が必要 と考えているため、新規参画企業やこれまでの研究 開発支援企業に対して継続的なフォローアップを図る 事業を実施する。
13	福岡県グリーンイノベーション戦略 ー世界から選ばれる福岡県を目指す 産業政策パッケージ 【計画期間：R4～R6】	本県には企業や研究拠点の集積など による産学官連携の強固な素地 が構築されており、「グリーン水素」 や「次世代自動車」などの分野にお いて、新技術の開発や事業転換、 新規参入を更に促進することによ り、世界をリードする産業や製品を 創出していくポテンシャルを有して いる。世界的な脱炭素化の潮流を チャンスととらえ、経済と環境の好 循環を生み出す成長戦略の担い手 として、世界で活躍する中小企業を 創出するとともに、本県が国のグ リーン成長戦略を加速させる先進 拠点となることを目指す。	16,899	指標①	成長産業分野への新規 参画企業数(水素)	121	社	125	目標値を達成しており、成長産業分野への新規参画 企業数に寄与した。
				指標②	県の支援により新たな成 長産業分野における新製 品・新サービスの開発件 数(水素)	45	件	44	水素関連産業の参入に意欲を持つ企業は増加したも の、市場ニーズや競合優位性など、製品開発に取り 組むまでの検討に時間を要し、製品開発件数は目 標値を下回った。 今後は、積極的なアドバイザー派遣等により、製品開 発に向けた情報共有や助言等により、製品化実現を 支援していく。
				指標③	新たに電動化等の次世 代技術に取り組む自動車 関連企業数(自動車)	55	社・団体	48	自動車メーカーの電動車生産開始が見込みより遅れ ているため目標値を下回った。 今後は、電動車生産開始を待つだけでなく、自動車 メーカーやTier1メーカーの開発拠点において直接ア ピールするため、県内サプライヤーによる展示商談会 の開催等を実施していく。

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等		
				指標		令和6年度 目標値	単位		令和6年度 実績値	
14	霊峰英彦山を核とした地域ブランド の構築事業 【計画期間：R4～R6】	過疎化・高齢化が進行している東峰村・添田町において、地域ブランディングを通じた地域への継続的な人の流れやにぎわいを創出し、誇りをもって住み続けられる持続可能な地域づくりを目指すため、霊峰英彦山を活用した映画・ドラマロケーション誘致、BRT開通を契機とした地域PRイベントの実施・サイトの構築・観光周遊ルートの構築やツアー販売等を実施する。また、都市住民と共同して、日田彦山線沿線の景観づくり事業を実施する。	10,252	指標①	地域の賑わい拠点(勸遊舎ひこさん駅、筑前岩屋駅)の年間利用者数(延べ)	1,857	千人	1,211	英彦山神宮の修復工事やひこさんホテルの休館による登山客の減少、および台風や猛暑の影響による米や野菜の不作による道の駅利用客数の減といった要因があったため、目標値を下回った。 今後は、周辺観光資源の回復と魅力向上が課題と考えているため、筑前岩屋駅や歓遊舎ひこさんの周辺施設再整備による誘客促進、岩屋湧水を活用した商品化による地域経済活性化、そしてこれら取り組みの効果的な情報発信を踏まえた事業を実施する。	
				指標②	地域情報発信サイトへのアクセス件数(延べ)	1,300,000	件	12,446		
				指標③	添田町・東峰村の15～34歳の転出超過数(人)	88	人	49		目標値を達成しており、地域ブランディングを通じた持続可能な地域づくりに寄与した。
				指標④	添田町・東峰村のドラマ・映画のロケーション誘致数(件)	3	件	2		当初は3件の撮影実績を見込んでいたが、うち1件の映画撮影が制作スケジュールの都合により延期になり、目標値を下回った。 6年度に実施したロケーション誘致に係る営業活動により、これまで累計20件程度の撮影に係る問い合わせをいただいております、今後も増加が見込まれるため、引き続き取り組む。
15	福岡バイオコミュニティ形成プロジェクト 【計画期間：R3～R7】	バイオ戦略におけるバイオコミュニティ形成の推進により、地域の価値を高め、企業が成長できる環境を整えとともに、イノベーションや投資等を促進するバイオエコシステムを確立し、県内のバイオ企業等のポテンシャルを活かした新たな取り組みを着実に進め、福岡県の強みを活かせる市場領域を中心としたバイオ市場全体の拡大を図り、国内バイオ産業を牽引する国内有数のバイオ産業拠点を構築する。	79,968	指標①	バイオ分野の一人あたり給与	3,508,339	円	3,836,731	目標値を達成しており、国内有数のバイオ産業拠点構築に寄与するために引き続き事業を実施する。	
				指標②	県内バイオ関連企業数	266	社	266		
				指標③	実証事業による製品化販売額	215,000,000	円	2,019,640,000		
				指標④	福岡バイオコミュニティ推進会議新規会員数	72	会員	122		

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標		令和6年度 目標値	単位		令和6年度 実績値
16	福岡県プロフェッショナル人材戦略 拠点事業 【計画期間：R5～R9】	県内中堅・中小企業がもつプロ フェッショナル人材のニーズを具体 化し、複数の民間人材ビジネス事業 者との連携により、企業と大都市圏 などの技術者をはじめとするプロ フェッショナル人材とのマッチングを 支援。	20,034	指標①	企業からの相談件数	603	件	707	目標値を達成しており、県内の中堅・中小企業等の人 材の確保と、その活用による成長に寄与するため、引 き続き事業を実施する。
				指標②	副業・兼業での成約件数	120	件	120	
				指標③	新規企業の成約件数	63	件	52	成約率向上に力を入れたことから新規先へのアプ ローチが不足し、目標値を下回った。今後目標値を達 成するためには、より多くの企業への事業周知が必 要と考えているため、企業向けセミナーや周知方法の 見直しを行い事業を実施する。
				指標④	デジタル人材の成約件数	31	件	38	目標値を達成しており、県内の中堅・中小企業等の人 材の確保と、その活用による成長に寄与するため、引 き続き事業を実施する。
合計			852,219						

2 地方創生拠点整備タイプ

地方版総合戦略に位置付けられた、地方公共団体の自主的・主体的な取組で、先導的な事業に必要な施設の新設・改修を支援する交付金

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標		令和6年度 目標値	単位		令和6年度 実績値
1	〔新規報告〕 「福岡の八女茶」ブランド力強化による新たな需要獲得に向けた研究拠点施設整備事業【実施期間：R5～R6】	「福岡の八女茶」の産地維持および消費拡大のため、試験処理能力が2倍、最大で10か国の輸出相手国に対応可能な製茶工場施設を整備する。当該施設を拠点として、「福岡の八女茶」の国内外における様々な需要に応じた新技術を開発するとともに、「福岡の八女茶」として広く認知されているブランド力を活かした新商品の開発や新たな利用方法を創出することにより、茶業関係者の収益性を高め、地域の稼ぐ力を強化し、「福岡の八女茶」ならではの魅力ある茶業へつなげる。	108,367	指標①	八女茶輸出実績（輸出額）	0.5	億円	2	目標値を達成しており、「福岡の八女茶」の産地維持および消費拡大に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標②	茶の生産・加工技術の習得等を目的とした研修参加者数（延べ人数）	100	人	100	
				指標③	有機JAS茶の栽培面積	36.35	ha	23.98	
2	果樹新品種開発加速化のための研究拠点整備計画【実施期間：R4】	果樹の新品種開発を加速する施設を整備し、付加価値の高い新品種を迅速に開発、普及することで、生産者の経営基盤を強化することにより、稼げる農業を実現する。整備した施設で県内事業者の開発するスマート農業機器等の実証や改良を行うことで、スマート農業機器等の導入による生産者の生産性向上とIoTやロボット等の成長産業の振興につなげる。	110,273	指標①	施設内栽培果樹販売額	1,318	千円	1,119	鳥害が発生したため目標値を下回った。今後目標値を達成するためには、栽培施設の鳥害対策を徹底が必要と考えているため、生産の安定に取り組む。
				指標②	選抜供試（育苗前選抜）系統数	900	系統	2,034	目標値を達成しており、付加価値の高い新品種の開発に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標③	県内果樹1戸当たり生産額	605	万円	674	目標値を達成しており、生産者の経営基盤の強化に寄与するため、引き続き事業を実施する。

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和6年度 目標値	単位	令和6年度 実績値		
3	次世代農業人材の育成及び農業経営者の経営力・収益力向上のための拠点化に向けた施設整備計画【実施期間：R3】	農業大学の既存施設を改修し、就農形態の変化に対応した施設整備を行うほか、農業者向けの研修・交流室の整備を行うことで、農業大学校を学生の教育と農業経営者の学び直しを一体的、効率的に行う施設を整備。	45,988	指標①	農業大学校卒業生の就農率(3ヶ年平均)	58	%	44	農家子弟でない入学者の増加に伴い、農業関連団体や農業関連企業に就職する学生が多くなっているため、目標値を下回った。今後目標値を達成するには、雇用就農者数の増加が必要と考えているため、リカレント教育参加農業者や県法人協会等との連携を強化し、県内農業法人与学生とのマッチング機会の増加に取り組む。
				指標②	リカレント教育受講生の翌年度における経営改善目標達成者割合(3ヶ年平均)	36	%	44	目標を達成しており、農業経営者の育成に寄与するため、引き続き事業を実施する。
4	革新的バイオ産業創出のためのインキュベーション施設整備計画【実施期間：R2】	福岡先端バイオイノベーション総合施設(仮称、久留米市)を新たに設置し、最先端バイオ技術による企業の研究開発から製品開発・製造までを一貫して支援。	178,978	指標①	インキュベーション施設を活用して企業が試作もしくは製品化した件数	106	件	109	目標値を達成しており、計画終期の目標値(178件)を達成し、バイオ産業創出促進に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標②	オープンラボの利用件数	1,120	件	3,493	目標値を達成しており、計画終期の目標値(2010件)を達成し、バイオ産業創出促進に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標③	インキュベーション施設の入居率	70	%	100	目標値を達成しており、同水準を維持し、バイオ産業創出促進に寄与するため、引き続き事業を実施する。
5	福岡県農林業総合試験場の研究拠点機能の強化によるきのこ生産者の生産性・所得向上計画【実施期間：R2】	福岡県農林業総合試験場資源活用研究センター(久留米)に、新たな品種・技術の開発を行うためのIoT技術でモニタリング、制御できる栽培室(培養室及び発生室)、使用済みのきのこ菌床を燃料として熱と電気を発生させる熱電併給の機能と太陽光発電を組み合わせた自家電力供給システムの2つを備えたきのこ実験棟を整備。	130,439	指標①	本事業で整備する施設を利用して開発する品種・技術数	3	個	1	新たな開発に至らず目標値を下回った。今後目標値を達成するためには、複数の技術を組み合わせた効率的な現地実証が必要と考えているため引き続き実施する。
				指標②	きのこ類生産性	103	%	114	目標値を達成しており、きのこ生産者の生産性・所得向上に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標③	福岡フェア等における県産食材の取扱高	360	百万円	520	

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標	令和6年度 目標値	単位	令和6年度 実績値		
6	アユ増殖活動支援施設の拠点化のための施設整備計画【実施期間：R2】	福岡県水産海洋技術センター内水面研究所(朝倉市)に、漁業者のアユ増殖活動を支援するためのアユ種苗生産に必要な照度管理や水温管理が可能な施設を整備。	57,878	指標①	本施設で生産されたアユ種苗を用いて、アユ増殖活動に着手する組織数	4	組織	4	目標値を達成しており、アユ増殖に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標②	アユ漁に従事する漁業者の増加人数	16	人	18	
7	福岡ブランド「博多和牛」のブランド力強化と生産性向上のための研究拠点整備計画【実施期間：R1】	農林業総合試験場(筑紫野市)に、飼料摂取量、体重変化、発情周期等の肉用牛の個体情報を管理・制御可能な先進的な研究用肉用牛舎を整備。	121,375	指標①	本事業で整備する施設を利用して開発する技術数	3	個	3	目標値を達成しており、「博多和牛」のブランド力強化に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標②	福岡フェア等における県産食材の取扱高	320	百万円	520	
				指標③	博多和牛の出荷頭数	4,000	頭	3,442	
8	種苗生産の安定化を図るための拠点整備計画【実施期間：R1】	福岡県栽培漁業センター(宗像市)に、種苗の安定生産、高度化を図るためのボイラー施設、紫外線照射海水施設などを整備。	53,001	指標①	種苗生残率	14.8	%	15.0	目標値を達成しており、種苗生産の安定化に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標②	新規就業者数(漁業)	420	人／年	413	

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等	
				指標		令和6年度 目標値	単位		令和6年度 実績値
9	国際水準の農業生産工程管理 (GAP) の実践力を備えた農業者の所得向上を図るための施設整備計画【実施期間: R1】	福岡県農業大学 (筑紫野市) に、農産物の生産において発生する剪定枝や植物残さなどの廃棄物を近隣畜産農家から収集した牛糞などと一緒に堆肥化し、ほ場への還元を行うための堆肥舎や、堆肥製造後の農作業や実践研修におけるリスク軽減を図るため、衛生管理施設を整備。	33,069	指標①	農業大学校でGAP教育を受けた新規就業者数 (農業)	151	人	190	目標値を達成しており、生産工程管理の実践により所得向上を実践できる農業就業者の増加に寄与するため、引き続き引き続き事業を実施する。
				指標②	農業大学校で研修を受けた農業者のGAP認証取得件数	15	件	8	農業大学校で研修を受けた農業者の数が想定より少なかったため、目標値を下回った。今後目標値を達成するためには、認証取得を目指す農業者に積極的に研修の受講を働きかけ、受講者数を増やす取り組みが必要と考えているため引き続き実施する。
10	気候変動に対応した高品質な「福岡有明のり」の生産技術の拠点化計画【実施期間: R1】	福岡県水産海洋技術センター有明海研究所 (柳川市) に、ノリ生産の維持・安定化を図る空調・断熱設備の備わったノリ糸状体培養施設を整備。	1,512	指標①	当施設を参考に糸状体培養施設を導入した漁業者数	5	人	5	目標値を達成しており、「福岡有明のり」生産に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標②	新規漁業就業者数	429	人	413	新規漁業就業者数が見込みを下回ったため目標値を下回った。今後目標値を達成するためには、漁業への関心を持ってもらう取り組みが必要と考えているため引き続き実施する。
11	家具試作支援ラボおよび家具評価支援ラボの整備による県内家具製造業の生産性向上支援【実施期間: H30】	工業技術センターインテリア研究所 (大川市) に、家具製造業者が個々で行うには困難な家具の試作・評価が行える高度かつ総合的な「家具師試作支援ラボ」と「家具評価支援ラボ」を整備。	78,589	指標①	インテリア研究所を活用して企業が製品化した売上	95,000	千円	55,420	コロナ禍で新製品の開発に期間を要し、販売機会が減少したため、目標を下回った。新型コロナウイルス感染症の影響は一過性のもので、今後回復する見込みである。引き続き、付加価値の高い製品開発ができる活力ある企業の育成に寄与するために事業を実施する。
				指標②	インテリア研究所を活用して企業が製品化した件数	6	件	3	
				指標③	付加価値の高い家具を開発する上で、家具試作ラボおよび家具評価支援ラボに設置した機器を利用した件数	40	件	79	目標を達成しており、付加価値の高い製品開発ができる活力ある企業の育成に寄与するため、引き続き事業を実施する。

No	交付対象事業の名称	事業概要	交付金額 (千円)	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				KPI達成状況に応じた 今後の対応等		
				指標	令和6年度 目標値	単位	令和6年度 実績値			
12	気候変動に対応する麦類・大豆新品種開発のためのスマート育種拠点整備計画【実施期間：H30】	農林業総合試験場(筑紫野市)に、気候変動に対応する麦類、大豆の新品種開発や栽培管理技術開発が行える、環境制御施設を整備。	59,132	指標①	施設を利用して開発する県育成大豆の単位面積当たり収量	200	kg/10a	127	降雨による播種遅れと開花期の乾燥による生育量不足のため目標値を下回った。今後目標を達成するためには、適期播種や乾燥害対策として部分浅耕一工程播種技術等の普及が必要と考えているため引き続き実施する。	
				指標②	施設を利用して開発する県育成大豆の作付け面積	6,000	ha	6,536		目標値を達成しており、生産者の所得向上に寄与するため、引き続き事業を実施する。
				指標③	施設を利用して開発する品種・技術数	3	件	4		
13	海藻養殖業の新規着業を支援し漁業収益性を向上させるための施設整備計画【実施期間：H30】	水産海洋技術センター(福岡市)に、海藻の「元タネ」の培養保存、養殖に必要な「タネ」の生産・育成技術を開発・普及するための、屋内培養施設を整備。	37,010	指標①	本施設で生産されたタネを使用している組織におけるアカモク生産額	11.9	百万円	12.2	目標値を達成しており、アカモク生産に寄与するため、引き続き事業を実施する。	
				指標②	本施設を利用してアカモクの新規増養殖に着手する組織数	7	組織	7		
14	ゲノム解析技術を活用した次世代イチジク品種開発のための施設整備計画【実施期間：H30】	農林業総合試験場豊前分場(行橋市)に、イチジクの新品種開発のため、種から幼苗までの生育を推進する機器、育苗期間を短縮化する環境制御システム、果実の品質を均一に保つ栽培施設を一体的に整備。	12,438	指標①	施設を利用して開発する県育成イチジクの輸出額	3	百万円	0	新たなイチジクの開発に至らず目標値を下回った。今後目標値を達成するためには、ブランド化につながる新品種開発が必要と考えているため引き続き実施する。	
				指標②	施設を利用して開発する県育成イチジクの作付け面積	3	ha	0		
				指標③	施設を利用して開発する品種・技術数	3	件	3	目標値を達成しており、生産者の経営安定に寄与するため、引き続き引き続き事業を実施する。	
合計			1,028,049							

3 備考

国の交付金を活用した取組について、県民に周知するため、事業の実施状況や交付金対象経費等を県HPへ掲載。

掲載URL : <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/degidenkoufukin.html>